

活動テーマ

若者Z世代が好む柑橘製品の開発

ときがわ町大附地区 十文字学園女子大学

1 活動目的

「若者Z世代が好む柑橘製品」をコンセプトとしてときがわ町の特産柑橘である「福みかん」を使ったジェラート、菓子、お茶などの開発を行い、地域のお祭りへの出店や展示会出展、メディア出演により「福みかん」の特徴や魅力をより多くの人に知ってもらうこと、さらに高齢化が進む柑橘農園の収穫作業の手伝いやときがわ町の子どもたちへの食育活動を行うことで、柑橘産業の振興や地域活性化に貢献することを活動目的とした。

2 活動地域の現状

ときがわ町の人口は10,102人(令和8年1月1日付)であり昨年から約90人減少しており、過疎化が進んでいる。また、柑橘農園などにおいても農業事業者の高齢化が進み、後継者が見つからないため、柑橘産業が衰退していることが深刻な課題となっている。

3 活動内容

本学学生らは、ときがわ町で伝統的に栽培されている「福みかん」を活用して若者Z世代に向けた柑橘製品を開発することで、多くの方々にときがわ町と「福みかん」を知ってもらうことを考え活動を行った。商品を開発するにあたってときがわ町の地域の方々と意見交換会を実施し、「福みかん」収穫、商品企画、加工、販売まで一気通貫で行った。開発した柑橘製品を、地域のお祭り、展示会、メディアを活用し広くPR活動を行った。「福みかん」の加工後の残渣である果皮と種子は廃棄物として処理されていることから、有効活用のために残渣からノビレチン高純度粉末、種子からノミリン高純度粉末を製造する方法を検討した。ときがわ町プレミアム給食としてフォーチュンオレンジジェラートをメニュー提供することで子どもたちに食育活動を行った。これまでに開発したレシピはレシピ集としてまとめ、ときがわ町に提供した。

4 成果

「若者Z世代が好む柑橘製品の開発」をテーマに活動し、「福みかん」を活用したフォーチュンオレンジジェラート、フォーチュンミルクモナカ、ウィークエンドシトロン、琥珀糖、グミ、白玉などを開発した。完成した商品は大学のオープンキャンパス、朝霞市彩夏祭、東レパンパシフィックオープンテニス大会、新座市収穫祭、志木マルイ新座フェス、大相撲新座場所、埼玉県農商工連携フェア、新座チャリティもちつき大会などに出品し、ときがわ町の魅力や「福みかん」の認知度の向上に努めた。これまでに開発してきた「福みかん」を活用した飲料やスイーツなどがNHK、テレビ埼玉、日本テレビなどのテレビ番組でも取り上げられたことで、全国的にもときがわ町と「福みかん」の魅力が広がったのではないかと考えている。さらに、廃棄物である果皮からノビレチン高純度

粉末を製造、食品機能性を検証し、ノビレチン・PMF 研究会第 8 回学術研究会（11 月 21 日、Shimadzu Tokyo Innovation Plaza・川崎）で発表したところ、優秀発表賞を受賞した。これまでに開発した商品のレシピは、今後もときがわ町で継続して製造・販売できるように、レシピ集としてまとめてときがわ町に提供した。ときがわ町の中学校とも交流し、ときがわ町にしかない「福みかん」の魅力を子どもたちに知ってもらう食育活動を行った。

5 課題

福みかんの収穫には、多くの人数が必要であり、今後も製品の販売を継続的に行っていくには、大学生と一部の町民による収穫だけでは限界がある。また、福みかんは酷暑や害虫、害獣などにより毎年の収穫量が異なるため、生産管理が難しい。ときがわ町の柑橘産業の復興に向けて協力してくれる方々を集めて、衰退を食い止めることが今後の課題である。

6 次年度以降の計画

今年度は本活動の最終年度であるが、ときがわ町の広報活動と「福みかん」の魅力発信を継続していく予定である。具体的には「福みかん」を活用した商品レシピの開発を行い、地域の洋菓子店などにレギュラー商品として置いてもらえるようにしたいと考えている。また「福みかん」の果皮や種子の有効成分を活用した機能性食品や機能性化粧品を目指した学術研究も進めていく予定である。

以上

【活動写真】



朝霞市彩夏祭出店（左）（2025 年 8 月）
東レパンパシフィック出店（右）（2025 年 10 月）



福みかん狩り
（2025 年 11 月）



JAPAN PACK 2025 で発表
(2025年10月)



ノビレチン研究会第8回学術研究会で発表（左）、優秀発表賞を受賞（右）
(2025年11月)



埼玉県農商工連携フェアに出展参加
(2025年12月)



NHK 首都圏ネットワーク「おでかけしゅと犬くん」に TV 出演（左）
（2025 年 12 月）

日本テレビ news every. に TV 出演（右）
（2026 年 1 月）



ときがわ町の都幾川中学校、玉川中学校で食育授業
（2026 年 1 月）